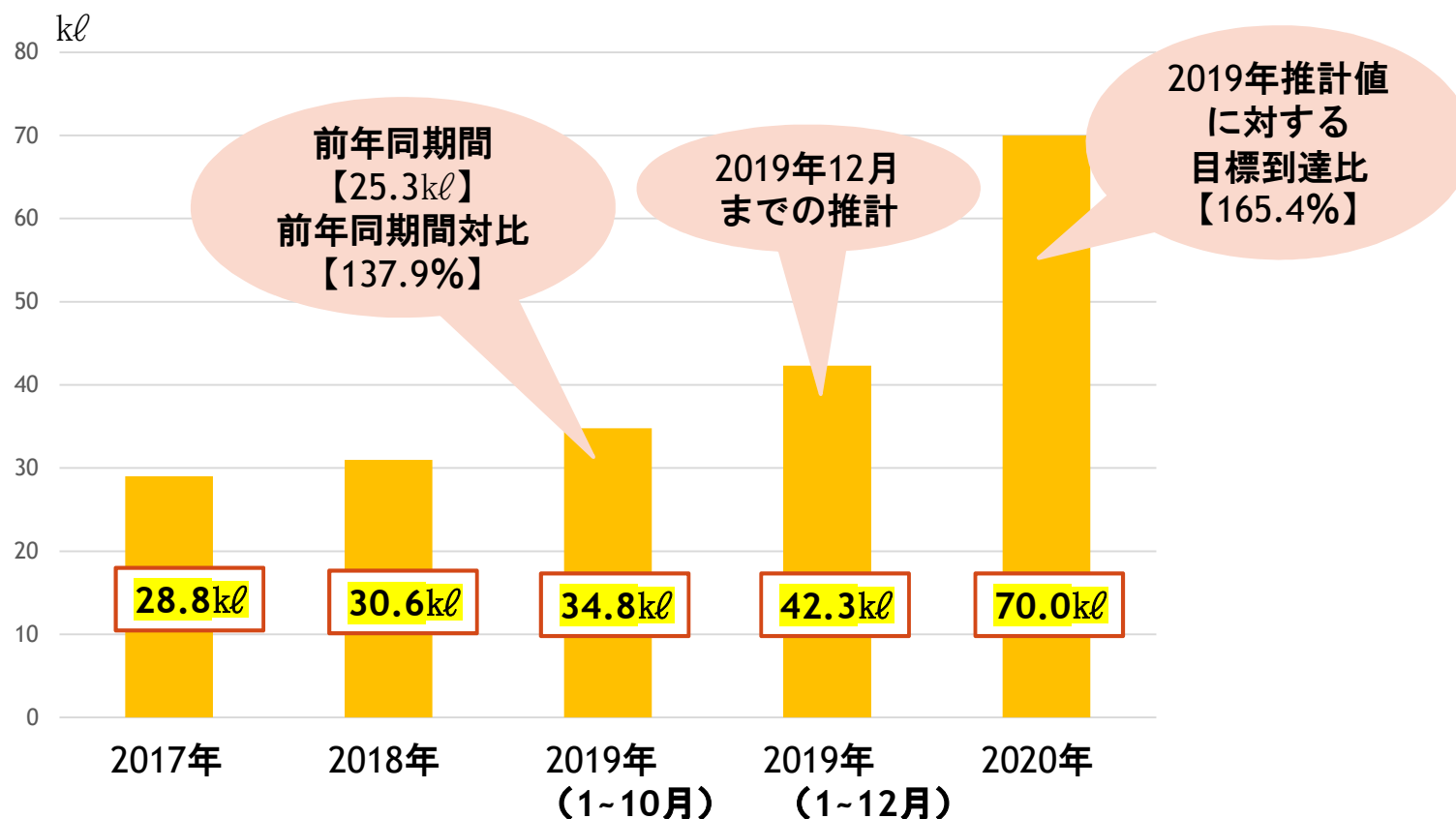


**「琉球泡盛海外輸出プロジェクト」
琉球泡盛海外輸出実績及び
今後の見通しについて
(令和元年1月～10月時点)**

**令和元年12月14日(土)
沖縄県酒造組合**

2019年1月～10月版 琉球泡盛海外輸出数量

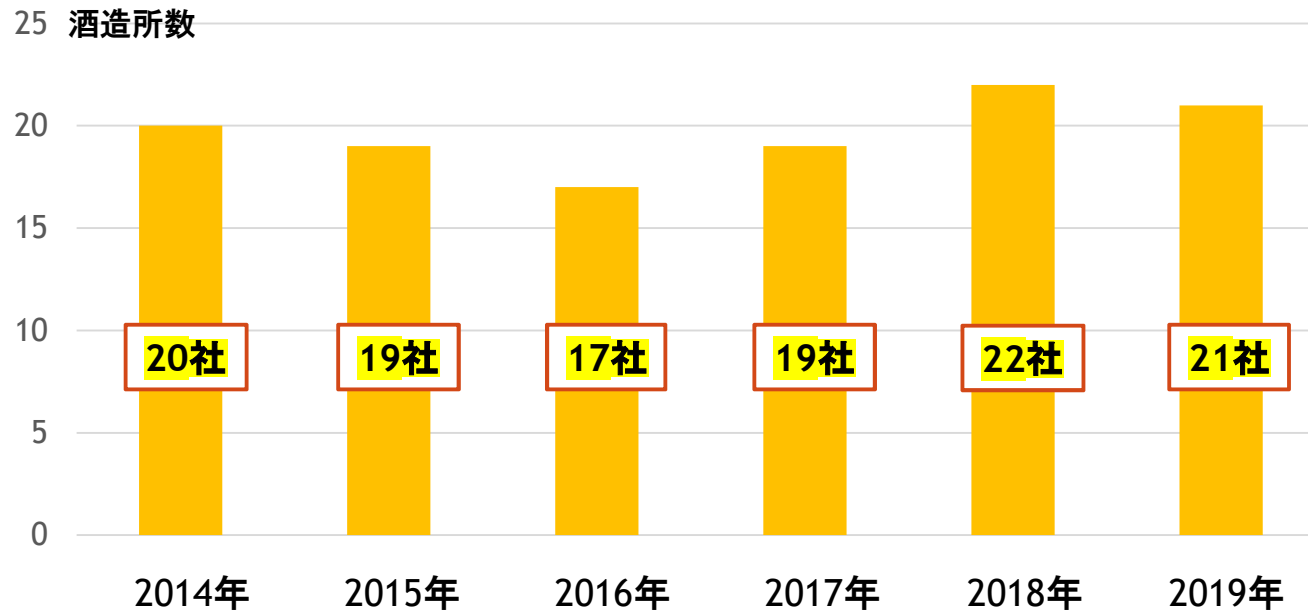


- ・ 2019年の実績値では、前年同期間対比で、**137.9%の増加**
- ・ 2019年の推計値では、前年同期間対比で、**138.2%の増加予定**

※推計値については、2019年1月～10月の前年同月対比の伸び率を、昨年の2018年11月と12月の実数値にかけて算出した数値と、2019年1月～10月までの実数値と足した数値となります。

【2020年の目標値までには、2019年推計値の**165.4%増が必須**】

2019年1月～10月版 輸出酒造所数の推移



今年度2019年10月時点で、海外輸出を行った酒造所は21社

- ・ 前年出荷実績があり、2019年現時点で出荷していない酒造所【4社】
- ・ 前年出荷実績がなく、2019年時点で初めて出荷した酒造所【3社】

2019年1月～10月（現行版）

酒造所別輸出数量対前年増減

酒造所別輸出数量の対前年増減（2019年10月時点）

輸出数量【増加】	輸出数量【減少】
15社	6社

■対前年実績で【増加】要因

- ・ 内閣府支援事業、沖縄県支援事業等の行政支援による需要拡大が要因。
- ・ 船内クルーズ船でのプロモーションや、他酒類とあわせたタイアップ施策で需要拡大した。
- ・ 既存取引先での影響により、新規の取引先（現地インポーターなど）が増えてきており、他酒類での横断的な提案が増えてきた。結果出荷増になった。
- ・ 量販店用、B A R用、レストラン用などの的を得た提案の仕方で、輸出出荷等の需要拡大に繋がった。

■対前年実績で【減少】要因

- ・ 香港の国内情勢や韓国での不買運動などにより輸出が制限されたことで、輸出出荷ができなくなってしまった。
- ・ 単発発注であったため、今年に入り発注がないため実績がつくれていない。